

国鉄改革完遂！
当たり前の労働運動
を前進させよう！

J R
東海労

静岡

J R東海労働組合静岡地方本部
静岡市葵区黒金町 68
NTT 054-284-3608
FAX 054-283-6365
発行責任者 山本繁明
2011年 6月13日 No.27

葛西会長殿、欲しいのは電気ですか？原発ですか？それとも・・・

5月24日の産経新聞に掲載されたJ R東海葛西会長の原発継続推進の寄稿をめぐって、マスコミやネット上で反響が起こっています（圧倒的に非難多し）。私たちは、「なんとしてもリニアに必要な大量安定電力を確保しなければならない」ことからの会長の主張だと考えます。最近になって交通政策審議会小委員会がようやく公表したリニアの想定最大消費電力は、東京～名古屋で約27万キロワット、東京～大阪で約74万キロワットというものです。現在停止中の浜岡原発4号機が出力は約114万キロワットですから、やはり（国や会社が少なめに見積もったとしても）リニアは膨大な電力を必要とするのです。原発に頼らなければ実現しそうなリニアを、福島第1原発の破局的な事故により様々な被害を受けている国民が認めるでしょうか？それでも利用したいという人がいるでしょうか？

葛西会長は「原発を止めれば日本経済の致命傷となりかねない。これまで通り原子力を利用し続ける以外に日本の活路はない」と主張しますが、原子力サイクルそのものが成り立っていないことも承知しているはずですが、国内の高速増殖炉・使用済燃料再処理工場・高レベル放射性廃棄物最終処分場は、技術も施設も永遠に未完成のまま膨大な費用が付き込まれ続け、死の灰は貯まり続けています。そして、常に被曝しながら作業している多くの原発労働者や、放射能漏れの危険にさらされながら生活せざるをえない原発周辺住民の犠牲のうえに、原発は存在しているのです。葛西会長は、これらのこと（考えたくない困難）を無視して、原発継続推進をこれからも唱え続けるというのでしょうか？